

受理番号	請願第3号	件名	「加齢性難聴者のため補聴器購入助成制度の創設を求める」請願
受理年月日	5. 8. 23		
請願者			
紹介議員	花井伸子、林 冬彦		

【請願要旨】

加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難とするなど生活の質を落とす大きな原因になるばかりか、最近では認知症や鬱病になる傾向が強いと専門家も指摘しています。

日本人の補聴器の使用率は、日本補聴器工業会の調査で、イギリスの47.6%に対し、14.4%と極めて低いのが実態です。

その背景には、補聴器の価格が平均して27万円という高価なもので、公的補助はごく一部に限定されていることに原因があります。

私たちは、認知症予防という立場からも、補聴器の「健康保険適用」が必要だと考えていますが、差し当って自治体での補聴器補助制度を実施することが喫緊の課題となっています。

私たちは、3月13日、戸田市長に「加齢性難聴者のため補聴器購入助成制度の創設を求める」要望を1,013筆の署名を提出し懇談をしました。

埼玉県鴻巣市、越谷市、草加市をはじめ、全国の地方自治体でも補聴器給付制度や購入費補助制度の実施が広がっています。つきましては、戸田市においても、70歳以上の高齢者を対象に「補聴器助成制度」の創設を求めて請願いたします。